

## 第1回荒川水系流域委員会 議事要旨

開催日時：令和2年1月20日（月） 13：00～15：30

場 所：羽越河川国道事務所 大石ダム会議所

- 議事次第：
1. 開会
  2. 挨拶
  3. 出席者の紹介
  4. 設立趣意、規約
  5. 委員長の選出
  6. 議事
    - (1) 流域委員会の進め方
    - (2) 荒川流域及び河川整備計画の概要
    - (3) 事業実施状況
    - (4) 今後の予定
  7. 閉会
  8. 現地視察

### ○議事

#### (1) 流域委員会の進め方 (資料-3)

- 委員からの意見なし。

#### (2) 荒川流域及び河川整備計画の概要 (資料-4)

(委員)

- 河川整備計画の目標流量規模について、昭和42年の羽越水害規模ではなく、なぜ約9割規模としているのか。

(事務局)

- 河川整備基本方針では、昭和42年の羽越水害規模を目標としている。河川整備計画では当面30年間の整備として約9割規模の洪水を安全に流下させることを目標としている。その後、羽越水害規模の整備を進めることとしている。

(委員)

- 河川整備計画の目標流量を安全に流下させるための対策に、ダムの洪水調節は含まれるか。

(事務局)

- 河川整備計画の目標流量7,500m<sup>3</sup>/sのうち、横川ダムと大石ダムを合わせた洪水調節効果として約1,000m<sup>3</sup>/sを見込んでいる。

### (3) 事業実施状況 (資料・5)

(委員)

➤ 河川整備計画の目標流量を確保するために、延々と河道掘削を実施する必要があるのか。  
(事務局)

➤ 河川整備計画の目標流量を確保するため、段階的に河道掘削を実施しているが、目標流量に達するにはしばらくかかると思われる。河川の特性上、河道掘削が完了したとしても、その形状を維持するためには維持掘削が必要となる。

(委員)

➤ 昨年度から3か年緊急対策で実施している樹木伐採は、河川整備計画に含まれないのか。  
(事務局)

➤ 3か年緊急対策は、河川整備計画の目標流量を少しでも早く達成するため、緊急的に全国で取り組んでいる事業であり「樹木伐採」という整備メニューはないが、大きな意味で河川整備計画に含まれている。

(委員)

➤ 大石ダムには渇水時の補給機能はあるか。

(事務局)

➤ 大石ダムは、計画時に渇水時に補給するための容量を見込んでいない。

(委員長)

➤ 昨年6月18日の新潟山形地震が発生し、地震・津波に対する関心が高まったと思われる。地震・津波に対して荒川で実施されたことはあるか。

(事務局)

➤ 荒川では、地震が発生し津波が来た時に堤防を越えるかどうか点検等を実施しているが、対策は実施していない。

### (4) 今後の予定 (資料・6)

(委員)

➤ 第2回、第3回流域委員会の開催時期について教えていただきたい。

(事務局)

➤ 第2回は、本年の秋頃での開催を予定している。第3回の開催時期は未定である。

以上